



平成 31 年 4 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 島 精 機 製 作 所  
 代 表 者 名 代表取締役社長 島 三 博  
 (コード番号 6222 東証 1 部)  
 (問合せ先) 取締役執行役員  
 経理財務部長 南 木 隆  
 (TEL 073-471-0511)

### 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 10 月 24 日に公表した通期業績予想および期末配当予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 31 年 3 月期業績予想の修正

(金額単位:百万円)

(1)平成 31 年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	58,000	8,000	8,200	6,000	164 円 33 銭
今回修正予想 (B)	51,300	4,300	4,700	3,400	93 円 63 銭
増減額 (B-A)	△6,700	△3,700	△3,500	△2,600	—
増減率 (%)	△11.6	△46.3	△42.7	△43.3	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	71,858	14,905	15,525	11,279	316 円 82 銭

(2)平成 31 年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	46,200	5,200	3,800	104 円 08 銭
今回修正予想 (B)	39,300	2,200	3,200	88 円 13 銭
増減額(B-A)	△6,900	△3,000	△600	—
増減率(%)	△14.9	△57.7	△15.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年3月期)	61,038	10,435	7,495	210 円 53 銭

#### (3)修正の理由

当期におきましては、中国市場を中心にホールゲーム横編機の導入は堅調に拡大したものの、先進国アパレル向けOEM生産拠点のバングラデシュにおいては国内政治情勢の影響などによりコンピュータ横編機の設備投資が低調となりました。また中東のトルコにおいても通貨安の影響などで設備投資は停滞しました。さらにアジア市場におけるシューズ生産用途のコンピュータ横編機も競合環境の激化を受けて販売が低迷しました。こうした状況を打開すべく営業努力を重ねることで、当社ユーザーの設備投資が最盛期となる第4四半期には回復基調に戻ると見込み、前回業績予想を発表いたしました。しかし、世界経済の減速懸念によりアパレル生産動向に不透明感が増す中、ユーザーの多くが設備投資を手控えたことで主力のコンピュータ横編機の売上高は回復には至りませんでした。また受注減にともない生産調整を行ったことで売上総利益率が悪化したことや、一部顧客の支払遅延に対応して貸倒引当金繰入額を増加させたことなどで営業利益以下の各利益段階ともに前回予想数値を大きく下回る見込みとなりました。これらの状況を踏まえ、度重なる修正となり誠に遺憾ではございますが通期の業績予想(連結・個別)を修正いたします。

## 2. 平成31年3月期期末配当予想の修正

### (1) 配当予想の修正内容

	年 間 配 当 金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成30年10月24日)	—	—	—	未定	—
今回修正予想	—	—	—	25.00	55.00
当期実績	—	30.00	—		
前期実績 (平成30年3月期)	—	25.00	—	35.00	60.00

### (2) 配当予想修正の理由

平成31年3月期の期末配当金につきましては未定としておりましたが、今回の業績予想を踏まえ、1株あたり配当予想を25円とさせていただくことといたしました。

当社は株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけており、今後も長期にわたって安定した配当を実施できるよう努力する所存です。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる場合があります。

以上